

平成 29 年度事業報告書
平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 エヌ・ピー・オー福祉用具ネット

1 事業の成果

本NPO法人も平成 29 年度は**設立 15 周年**を迎えました。

15 周年の特別企画として、介護現場の腰痛対策にスポットを当て、「抱え上げない介護を当たり前のケアにしよう！」をスローガンに掲げ、福岡のみならず、佐賀県や大分県などと連携して抱え上げない介護技術習得のために研修会を数多く、開催しました。

まずは、第一ステップとして、動機づけ研修会を開催致しました。

① **5 月 27 日は 15 周年記念講演会**「日本の今後の医療・介護について拘縮ゼロ活動が日本を救う」と題し、講師にはこうしゆくゼロ推進協議会副代表の石橋弘人氏に講演していただきました。

第二ステップは技術習得と仲間づくりを企画

② 9 月 9 日・10 日、10 月 22 日は、高知県で先進的にノーリフティングケアを取り組んで顕著な成果をあげている「ナチュラルハートフルケアネットワーク」代表の下元佳子氏を招き、抱え上げない介護技術一部導入編、二部指導者育成編、三部リーダー養成編を開催しました。5 県から 100 人の専門職が受講し、この事業推進に向けたプロジェクトチームを結成できました。

③ さらに第三ステップでは、地域への呼びかけを目的にしたセミナーとシンポジウムを企画しました。

11 月 16 日・17 日には北九州市で開催された西日本国際福祉機器展にて「腰痛予防からケアの質を考えるについて」や、また「ノーリフティングケアの実践報告会」というテーマで 2 日間セミナーを開催しました。

④ その後、各地域で技術研修やマネジメント研修によるフォローアップ研修会を随時開催してきました。

もう一つの 15 周年特別企画として、西日本国際福祉機器展において、パネルディスカッションを開催しました。本NPOは福祉用具の普及のために 15 年間活動してきましたが、さらにこれからの福祉用具の活用に向けてのパネルディスカッションを開催致しました。

具体的には、福祉用具の最前線で現在も活躍している仲間の専門職や患者家族の立場、さらに開発者の立場などから、「福祉用具の活用、これからの生活支援に向けて」というテーマで発言をいただき有意義な意見交換となりました。

尚、本NPO主催の「抱え上げない介護」への取り組みや開発支援については、3 つのテレビ局から取材を受けてテレビ番組でも取り上げられました。

その他の事業については、定款に沿って、特定非営利活動に関わる事業 4 項目に関わる、活動の概要について報告いたします。

(1) 福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業

- ① 今年度の事業として特筆すべきことは、福岡県委託事業を受託したことであります。つまり、福祉用具のニーズ調査を起点にもものづくりへと繋ぐ重要な役割・職責を担うことになりました。福祉用具開発のための真のニーズを見極めるために、福岡県内企業への開発支援を推進するという役割であります。
仲間の専門職との検討委員会等を開催して、福祉用具開発に向けた活動を本格的に始動させたのでした。
- ② 約 300 の福祉施設から回収した「福祉用具に対するアンケート調査」を解析して、さらに県内 20 の福祉施設に直接インタビューをし、現場の声を基にして、ニーズを確認する作業をしました。それらの調査結果をまとめて、福岡県内の企業 12 社にマッチングについて提案し、さらに開発を決めた企業支援も具体化したところです。
さらに、本法人の「ものづくり支援センター」としての業務については、県外の企業や会員企業からの開発相談も多く賜りました。
一年間の企業支援した回数は県内県外企業 24 社、合計 61 件のものづくりや販路開拓支援を行いました。
- ③ 第 19 回西日本国際福祉機器展が 11 月 16 日から 3 日間開催されましたが、会員企業等 15 の企業や団体が連携して出展しました。特に今年度の特徴は、NPO 福祉用具ネット 15 周年記念イベントとして福祉用具体験コーナーの企画展示を開催したことです。
会場では、排せつケア・体圧測定体験・ポジショニング・移乗技術体験、ボードやシート、リフト体験・介護ベッドの使い方を特に専門職に伝えることをテーマとしました。3 日間で延べ 22,111 人の来場者がありました。
- ④ さらに、19 年間共同開催している福祉用具研究会と連携して、企業の開発商品について相談を受けました。現場の専門職で構成する研究会会員が相談を受ける形式で県内外の企業 6 社の商品や企画について検証しました。研究会に延べ 322 人が参加しました。

(2) 生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業

研修会事業は学内研修と出前講座を合計して 22 件を開催し、さらに西日本国際福祉機器展開催時に北九州市で 17 件開催しました。各研修会のアンケート結果からは満足度の高い評価を多くいただきました。

また、今年度は「排せつ総合研究所」との共催でおむつ検定を開催し、受検者全員の合格を果たしました。

4年前から全国的に展開している高齢者への化粧支援のために、（一社）「日本介護美容セラピスト協会」と連携し、ビューティタッチセラピストの養成事業も順調に継続中です。これまでに育成したセラピストは全国で1000人を超えました。毎年、約300名あまりが巣立っています。

(3) 安全な生活に向けたバリアフリー化に関する相談・調査・啓発・研修などの福祉のまちづくりに関する事業

個別の事例相談に住宅改修に関する相談も含む対応2件実施しました。

(4) 情報誌及び出版物の発行など会員や市民との文化交流事業

情報誌『ささえ』は、計画通りに年4回発行を継続できました。これまで通算62号まで発行できました。

詳細は以下の通りです。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費金額(円)
1)福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業	■ 電話・面接による事例相談	随時	事務局	常勤1名 他3名	介護・医療・福祉専門職や要介護者とその家族など多数 57件	8,177,655
	■ 福岡県からの業務委託事業による福岡県企業支援	随時	福岡県内	常勤1名 他専門職数人	福岡県福祉機器開発参入企業 23件	
	■ ホームページや展示会、情報誌による福祉用具の情報提供	随時	事務局	常勤1名 他3名	介護・医療・福祉専門職や要介護者とその家族など多数	
	■ 開発に関する相談(ものづくり支	随時	各企業や事務局	常勤1名 他3名	関係の開発者若干名 38件	

	援センター事業)					
	■開発協力品の販路拡大支援	随時	全国	常勤1名 他3名	開発者など企業 10社	
	■福祉用具の展示・試作品発表	11/16 11/17 11/18	北九州市 西日本国際福祉機器展	常勤1名 含む 40名	出展協力企業16社	
	■開発品の検証などの受託事業	随時	福岡県	常勤1名 含む10名	開発企業関係者 若干名	
	■福祉用具研究会 9回シリーズ 開発相談 福岡県立大学 福祉用具研究会との共催	4月から 12月まで 9回 実施	田川市	常勤1名 含む30名	企業開発者 及び医療介護福祉 に関わる専門職35 名 延べ参加人数 322名	
(2)生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業	■福祉用具専門相談員養成講座のコンサルタント 福岡市職業訓練協会委託事業	9月～10月	事務局	常勤1名 他10名	関係者および福祉用具専門相談員指定講習受講者8名	3,217,790
	■西日本国際福祉機器展ブースセミナー 「福祉用具活用セミナー」 3日間 11のテーマ	11/16 11/17 11/18 3日間	北九州市	常勤1名 他20名	介護・医療・福祉・ など専門職や在宅 介護者 受講者数 合計264名	

	<p>■西日本国際福祉機器展キネステティクス体験講座</p>	<p>11/16 11/17 11/18 合計4回開催</p>	<p>北九州市</p>	<p>常勤1名 他2名</p>	<p>介護・医療の専門職など合計30名</p>
	<p>■西日本国際福祉機器展タウンミーティング FJC協会共催</p>	<p>11/16 午後 11/17 午前 2回</p>	<p>北九州市</p>	<p>常勤1名 他5名</p>	<p>介護・医療・福祉・など専門職 合計220名</p>
	<p>■西日本国際福祉機器展排泄ケア用品とノーリフトケアのための福祉用具の活用セミナーをテーマにした展示を企画</p>	<p>11/16 11/17 11/18</p>	<p>北九州市</p>	<p>常勤1名 20名</p>	<p>介護・医療・福祉・など専門職や在宅介護者 展示会来場者総数 16日(木) 6,867 17日(金) 7,473 18日(土) 7,771 合計22,111人</p>
	<p>■ビューティタッチセラピスト育成事業の支援</p>	<p>随時</p>	<p>札幌 東京 盛岡 新潟 大阪 徳島 名古屋 高知 福岡 高松 広島など</p>	<p>常勤1名 他5名</p>	<p>高齢者多数 医療介護福祉従事者多数</p>
	<p>■キネステ体験講座 2回開催</p>	<p>5/20 12/10</p>	<p>田川市</p>	<p>常勤1名 含む4名</p>	<p>介護・医療・福祉など 専門職や介護者 15名</p>

	■キネステ ベーシック コース3日間	7/9 7/29 8/6	田川市	常勤1名 含む3名	介護・医療・ 福祉専門職 受講者3名
	アドバンス コース3日間	10/7 10/8 10/15			
	■メンタル ヘルスケア 研修2回 シリーズ	6/3 8/26	田川市	常勤1名 含む2名	介護・医療・ 福祉専門職・ ハラスメント 12名 コミュニケーション 7名
	■15周年 記念講演会 「日本の今後の 医療・介護に ついて 拘縮ゼロ活動 が日本を救う」 講師 石橋弘人氏	5/27	田川市	常勤1名	医療介護専門職 在宅介護者など 92名
	■排泄ケア 研修 1日コース ・排せつケア の概論 ・ポータブル トイレの活用 と移乗技術 ・排せつ支援 のための 起居動作介助	7/1 9時～ 17時	田川市	常勤1名 含む4名	介護・医療・ 福祉専門職等 17名

<p>■抱え上げ ない介護技術・ 一部導入編 二部 指導者育成 三部 リーダー養成 講師 下元佳子氏</p>	<p>9/9. 9/10</p>	田川市	常勤1名 含む10名	<p>介護・医療・ 福祉専門職等 一部のみ受講 128名 二部・三部からの 一部受講 76名 合計204名受講 二部のみ受講 34名 三部のみ受講 100名</p>	
<p>■フォローア ップ学習会 1日コース</p>	<p>12/3 1/28 3/18 3回開催</p>	田川市		<p>医療介護専門職 約60名 12月25名 1月18名 3月15名 合計58名受講</p>	
<p>■職員研修 抱え上げない 介護技術 1日研修</p>	3/3	田川市	常勤1名	<p>福祉用具専門 相談員43名 専門職8名</p>	
<p>■リハ職の ための介護 技術勉強会 1日コース</p>	<p>5/21 7/23 9/24</p>	田川市	常勤1名	<p>リハ職 5月6名 7月8名 9月12名 合計26名受講</p>	
<p>■おむつ検定 &受験対策 講座</p>	11/18	北九州市	常勤1名 含む2名	<p>介護・医療・ 福祉専門職等 16名受検</p>	
<p>■出前講座 福祉用具研修</p>	<p>7/4 北九州 看護学校</p>	九州地域	常勤1名 含む2名	<p>看護学生42名</p>	

	■出前講座 カクイクス 主催 排せつケア 研修会	8/24 徳之島 8/25 沖永良部	鹿児島県	常勤1名	3/24 地域の 専門職多数	
	■出前講座 九州安寿会 主催 キネステ 研修会	2/23 九州 安寿会	福岡市	常勤1名 含む3名	福祉用具専門相談 員約60人	
(3)安全な生活に向けたバリアフリー化に関する相談・調査・啓発・研修などの福祉のまちづくりに関する事業	■バリアフリー に関する相談 在宅事例支援 2例	随時	筑豊 地域	常勤1名 含む3名	在宅介護者の相談 若干名	153,229
(4)情報誌および出版物の発行など会員や市民との文化交流事業	■出版物の 販売 (移乗マニュアルの販売)	随時	事務局	常勤1名	介護・医療・福祉専門職 若干名	271,635
	■情報誌 【ささえ】 の 定期的な発行およびホームページによる情報公開	年に4回 60号～ 63号 まで 計画的 発行	事務局	常勤1名 含む10名	介護・医療・福祉専門職や 不特定多数	

(2) 収益事業

該当なし